令和６年８月６日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－６

令和５年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【瑞浪地区
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	４事業
事業費総額 （決算時）	２，３９５，４９６円
交付金決定額 （うち加算額）	２，５５２，０００円 （０円）
交付金決算額	２，３９５，４９６円
交付金返還額	１５６，５０４円

●添付資料

・実績報告書　Ｐ１　～Ｐ１３
・事後評価調書　Ｐ１４～Ｐ１７
・参考写真
（令和５年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ１８～Ｐ２５

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和6年4月10日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市上平町１丁目１番地
名称：瑞浪地区まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　坂井　宗明

夢づくり地域交付金実績報告書

令和５年　５月２２日付瑞浪市指令第８９号で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、瑞浪市夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
安全・安心なまちづくり事業
潤いのあるまちづくり事業
地域の交流が活発なまちづくり事業
広報事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

安全・安心なまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第１、第３金曜日午後3時から小中学校通学路を中心に、第２、第４、第５金曜日午後7時からからは地域全体を対象にお実施した。
②自主防災訓練参加者は、地域での防災対策担当者・各区役員130名で予定しましたが熱中症アラート発出のため中止した。
③ＡＥＤ･心肺蘇生法講座を2回実施した。
④健康講演会を実施した。
⑤土岐川堤防健康ウォーキングを春と秋に2回実施した。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①青色回転灯防犯パトロールによる巡回　毎月第１、第３金曜日午後3時からと、第２、第４、第５金曜日午後7時から、35日119名で実施した。（計画＝年／40日延べ120名）
②自主防災訓練（地域での防災対策）各区役員・防災担当者150名で計画
実施当日、熱中症アラート発出のため開催を中止した。事業計画からは廃止しました。
③ＡＥＤ･心肺蘇生法講座は、12月8日（金）、9日（土）の2回開催参加者26名で実施した。
家庭の奥様を中心に土曜日の午前中に開催、参加者の8割以上が女性でした。
（計画＝2日×20名　合計40名3時間コース）
④健康講演会
アンケートで足腰の痛みを訴える皆さんが多くありましたので、理学療法士を招き実施する。
事前申し込みで26名の参加者で実施した。（計画＝参加者50名）
⑤土岐川堤防健康ウォーキングは年2回、春84名・秋61名の合計145名の参加者で実施した。
新しく高松観音コース（7.8km）をメインコースとして実施。
（計画＝春秋年2回　参加者2400名）

４　事業に要した経費（総事業費）

553,011　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

553,011　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施した地区

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	春の土岐川堤防健康ウォーキング申込チラシ（２色1,000枚）	印刷費	18,700
5月	青色回転灯防犯パトロール案内（@63×30人）	通信費等	1,260
	ウォーキング参加賞(粗品@700円×100人)	消耗品費	70,000
	ウォーキングゴミ袋・雑巾	消耗品費	1,645
	春の健康ウォーキング参加者へ飴・お茶の提供	食料費	21,068
６月	防災防犯部会案内（葉書63円×20枚）	通信費等	1,260
	模擬消火栓借用菓子謝礼（まち陶地区）	食料費	3,055
７月	防犯部会お茶（92円×12本）	食料費	1,104
	健康講演会チラシ作成（1000枚）	印刷費	18,700
８月	土岐川堤防健康ウォーキング協力依頼（@63円×30枚）	通信費等	1,890
	自主防災訓ノベルティー・砂・土嚢袋・ビニール紐・石灰	消耗品費	129,133
	自主防災訓練まち委員へ案内（切手120円×11枚）	通信費等	1,320
	自主防災訓練参加者お茶	食糧費	27,000
	青パト講習会案内・訂正案内（63円×80枚）	通信費等	5,040
9月	土岐川堤防健康ウォーキングチラシ（1000枚）	印刷費	29,700
	健康福祉部会案内等（63円×30枚）	通信費等	1,890
	健康講演会講師謝礼	報償費	20,000
	健康講演会演台生花	消耗品費	5,000
	健康講演会参加者お茶	食糧費	2,710
１０月	自主防災弁当代（対自衛隊）（キャンセルモレ）	食糧費	2,550
	救命講習会チラシ作成	印刷費	23,100
	青色パトロール当番案内（63円×30枚）	通信費等	1,890
１１月	土岐川堤防健康ウォーキング参加者粗品（@600×120名）	消耗品費	72,000
	まち煎餅・飴・お茶	食料品	49,444
	土岐川堤防健康ウォーキング（袋・養生テープ）	消耗品費	9,092
	健康講演会参加者ノベルティー（350円×50個）	消耗品費	19,250
１２月	普通救命講習会参加者お茶	食料費	2,710
1月	青色パトロール当番案内（63円×30枚）	通信費等	1,890
	自主防災説明資料送付	通信費等	1,920
2月	ＡＥＤ講習会資料22名に送付	通信費等	2,640
3月	土岐川堤防健康ウォーキング資料	消耗品費	6,050
合計			553,011

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績	備考
夢づくり地域交付金	640,000	553,011	
自主財源	26,700	0	
その他（　　）			
合　　計	666,700	553,011	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算	本年度実績	備考
経費区分	活動の内容				
防犯事業	**青色回転灯防犯パトロール** 住民参加の防犯活動を行う。第１、第３金曜日は小中学生下校時の午後３時３０分から、第2、第4、第5金曜日は午後７時から実施。年間40日	通信費等	12,000	11,340	
		小計	12,000	11,340	
防災事業	**自主防災訓練** 「自然災害や火災等を最小限にするため」救助訓練や消火訓練を実施する。	消耗品費	115,000	129,133	ノベルティー購入済
		食料費	23,400	33,709	
		通信費等	2,000	3,240	
		保健	40,000	0	
		使用料等	5,000	0	
		小計	185,400	166,082	
健康づくり事業	**健康講演会** 健康に関する知識向上のため講演会を実施する。	報償費	20,000	20,000	謝礼
		消耗品費	15,000	24,250	ノベルティー購入
		食料費	7,700	2,710	
		印刷費	35,000	18,700	チラシ印刷
		通信費等	4,500	0	
		小計	82,200	65,660	
	土岐川堤防健康ウォーキング 地域住民が健康でいきいきと暮らすために、春と秋に実施する。	消耗品費	184,000	158,787	ノベルティー購入
		食料費	65,100	70,512	お茶代」・高松せんべい
		印刷費	70,000	48,400	チラシ印刷
		通信費等	19,000	3,780	
		小計	338,100	281,479	
安全安心事業	**救急救命講習会** 緊急時の対応について学ぶ。	食料費	10,000	2,710	お茶代
		印刷費	35,000	23,100	チラシ印刷
		通信費等	4,000	2,640	
		小計	49,000	28,450	
合　　計			666,700	553,011	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

潤いのあるまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

１、花の苗の配布春・秋の年2回実施した。
２、3月下旬蛍の幼虫を放流する前に万尺川の清掃を実施した。源氏蛍の捕獲から交尾・採卵・幼虫飼育を行い幼虫を放流した。万尺川清掃及び蛍の生態と飼育について小学生を対象にミニ蛍教室を実施した。
現在幼虫を飼育している里親は3人です。今年度2人増やす。
３、美化啓発のための「マスク」配布は熱中症アラート発出のため中止した。
４、絵手紙・ちぎり教室を年5回開催した。1回は大雨開放発出のため急きょ中止した。
５、ニホンミツバチの誘引効果がある花、ラン科のキンリョウヘンなどを巣箱の近くに置き捕獲した。
６、「男女共同参画社会」に関する講演会を行った。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①花の苗の配布　春32団体に3,828ポット、秋30団体に4,200ポット合計8,020ポットを配布した。
（計画＝8,000ポット）
②美化啓発マスク配布は、熱中症アラート発出のため廃止した。
③3月24日「瑞子連」の親子と近隣の皆さん　名が参加して、ミニ蛍教室実施後「万尺川に蛍を取り戻すため」200匹以上の幼虫を放流した。環境美化活動として万尺川のゴミ集めを行った。
6月11日「瑞子連」と協働で蛍観賞会開催、地域貢献企業ダイナム様の会場提供もあり、子ども119名含む223名の参加がある。
11月13日蛍の生態と命の大切さについて「ミニ蛍教室」を瑞浪小学校で生徒8名を対象にを開催した。
（計画里親＝5、幼虫放流計画＝800匹）
④絵手紙・ちぎり絵教室を参加延べ人数66名が参加して教室を５回開催した。1回は大雨警報発出のため廃止した。　（計画：6回120名）
（試行事業）
①　地域の方の協力で分蜂に成功（1巣）現在飼育中です。
②「男女共同参画社会」”人生100年の時代へ”地域住民としてどう向き合うか！講演会を35名の参加で実施した。

４　事業に要した経費（総事業費）

748,209 円

５　夢づくり地域交付金充当額

748,209 円

（内、交付金加算額　　円）

余剰金　９１，７９１円うち
地域の交流が活発なまちづくり事業へ１１，７２６円流用
広報事業へ１０，５５０円流用　合計２２，２７６円充当

６　合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（潤い）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
５月	花の苗配布植え付け届郵送（葉書63円×40枚）	通信費等	2,520
	男女共同参画チラシ作成	印刷費	18,700
	男女共同参画資料作成（コピー用紙）	消耗品費	2,095
６月	花の苗代（3,828ポット×68円）	消耗品費	260,854
	絵手紙・ちぎり絵教材料費（絵手紙用室葉書・半紙）	消耗品費	1,714
	ホタル鑑賞会（ジュース×100本）	食料費	9,612
	男女共同参画資料郵送（84円×33）	通信費等	2,772
７月	男女共同参画資料郵送（@84円×6枚）	通信費等	504
	男女共同参画社会講演会謝礼（瑞浪小学校へ）	報償費	20,000
	男女共同参画社会講演会演台花	消耗品費	5,000
	男女共同参画社会講演会参加者お茶（90円×48本）	食料費	4,320
	蛍の幼虫餌・ろ過マット他（餌／5kg）	消耗品費	10,442
8月	蛍の幼虫餌（3kg+送料）	消耗品費	4,135
９月	絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（63円×30枚）	通信費等	1,890
	ちぎり絵用品購入（ピンセット）	消耗品費	2,414
１０月	絵手紙用葉書購入	消耗品費	1,333
	絵手紙講師謝礼	報償費	10,000
	蛍餌・飼育水槽用品	消耗品費	10,447
１１月	花の苗引き換え用葉書（63円×23枚）	通信費等	1,449
	花の苗配布（@65円×4,200ポット）	消耗品費	286,150
１２月	絵手紙・ちぎり絵教室案内葉書（@63円×30枚）	通信費等	1,890
	絵手紙・ちぎり絵教室画仙紙他	消耗品費	7,355
	養蜂危険保護帽子他	消耗品費	3,655
１月	絵手紙・ちぎり絵教室開催案内（63円×30枚）	通信費等	1,890
２月	男女共同参画資料郵送（120円切手×22枚）	消耗品費	2,640
	蛍の幼虫餌（5kg）・水槽（破損補充）他	消耗品費	15,648
３月	蛍の幼虫餌（送料込餌5kg）	消耗品費	6,390
	蛍の幼虫放流会（お茶・お菓子）	食糧費	18,330
	花配布資料作成コピー用紙	消耗品費	6,050
	蛍放流清掃火箸・鎌（5丁）等	消耗品費	28,010
合計			748,209

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	840,000	748,209	
自主財源	24,000	0	
その他（　　）			
合　　計	864,000	748,209	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
花の苗配布	コミュニティ花壇整備事業で花の苗を春と秋に地域の団体に配布し潤いのある地域環境づくりを推進する。	消耗品費	600,000	553,054	花の苗代
		食料費	3,000	0	
		通信費等	5,000	3,969	
		小計	608,000	557,023	
美化啓発活動マスク配布	美化啓発のメッセージを書いたマスクをJR瑞浪駅前で配布する。	消耗品費	45,000	0	事業廃止
		食料費	3,500	0	
		小計	48,500	0	
万尺川に蛍を	環境美化保全を推進するとともに、家族の絆を強くする。	報償費	10,000	0	
		消耗品費	62,000	75,072	エサ代・水槽ポンプ
		食料費	31,500	27,942	ミニ蛍教室お茶代
		小計	103,500	103,014	
絵手紙教室	絵手紙を体験することで、参加者相互のふれあいを感じると同時に「つながり」と「楽しさ」を味わい絆を強くします。	報償費	10,000	10,000	謝礼
		消耗品費	10,000	12,816	
		通信費等	10,000	5,670	
		小計	30,000	28,486	
試行事業	環境保全事業（ニホンミツバチ飼育） 街の美化と環境保全事業として取り組んでいくため、環境指標生物である「ニホンミツバチ」の生態調査を行う為に養蜂箱2個準備し飼育する。養蜂家を招き飼育方法を学ぶ。	消耗品費	5,000	3,655	
		通信費等	1,000	0	
		食料費	2,000	0	
		小計	8,000	3,655	
	男女共同参画事業（男女共同参画社会） まちづくり事業活動に、女性が参加していただくためにも「正しい男女共同参画とは」などの講演会を開催します。	報償費	20,000	20,000	謝礼
		消耗品費	5,000	7,095	
		食料費	6,000	4,320	
		通信費等	0	5,916	
		印刷費	35,000	18,700	
		小計	66,000	56,031	
合　　計			864,000	748,209	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

地域内の交流が活発なまちづくり事業

２　活動報告（活動内容等）

家族ふれあい芋ほり大会
　田植え、芋の植付け、稲刈り、芋ほり大会を実施した。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

家族ふれあい芋ほり大会
・田植え、芋の植付けに103名の参加者で実施した。（計画＝50名）
・稲刈り14名の参加者で実施した。（計画＝50名）
・芋ほり大会は参加者、大人103名小人97名と中学生ボランティア6名及び地域の方、合計251名の参加で実施した。
（計画＝200名）
・草刈りなどの農園管理に延べ116名が参加した。（計画＝300名）

４　事業に要した経費（総事業費）

631,726 円

５　夢づくり地域交付金充当額

631,726 円

（内、交付金加算額　　円）

［潤いのあるまちづくり事業より１１，７２６円流用］

６　合同で実施した地区

7　活動スケジュール、活動の内容　　（地域内交流）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
４月	田植え・芋の植付けチラシ作成（2色3000枚）	印刷費	39,600
	種芋（里芋）11Kg	消耗品費	11,880
５月	ふれあい農園耕運機燃料	光熱水費	6,420
	農園肥料・ブルーシート他	消耗品費	14,936
	餅米苗・さつま芋苗	消耗品費	24,396
	田植え機借用と田植え耕耘機運転	報償費	10,000
	お堂トイレ修理費（田植えトイレ借用）	手数料	12,100
	田植えお茶・ジュース・菓子（子ども80人分）	食料費	23,400
	傷害保険（損保ジャパン年間保険料）	保険料	41,700
６月	農園草刈り・草取りお茶	食料費	2,228
７月	農園草刈りお茶	食料費	3,797
	稲刈りチラシ（回覧500、一般500）	印刷費	18,700
８月	草刈り・草取りお茶（@100円×20人×2日）	食料費	10,335
	稲刈り準備（草刈り替え刃・雀おどし）	消耗品費	5,022
	まち推進委員へ稲刈り協力依頼（63円×30枚）	通信費等	1,890
	第３回芋ほり大会チラシ（5000枚）	印刷費	52,250
	耕耘機・稲刈り機ガソリン20L　使用	光熱水費	3,580
９月	草刈りお茶・稲刈りお茶・お菓子	食料費	16,902
	青少年部会へ田植え会議案内（63円×30円）	通信費等	1,890
	稲刈り用耕耘機燃料	光熱水費	3,500
	稲刈りマルチ、紐	消耗品費	15,244
１０月	モチ米精米代	手数料	1,000
	芋掘り大会準備（軍手・そえ棒・荷札・杭・マスク）	消耗品費	15,773
	芋掘り大会賞品（スーパー商品券）	報償費	17,000
	稲刈り耕耘機謝礼	報償費	10,000
	芋掘り大会（赤飯）	賄材料費	65,000
	芋掘り大会（ジュース、お茶等・準備のお茶）	食料費	99,583
	芋ほり案内参加家族へ会場案内等	通信費等	6,060
１１月	スピーカ電池補充	消耗品費	2,610
	保育園一時預かり料金	委託料	1,940
12月	駐車場・耕耘機運転・農園地主謝礼（４月～３月）	報償費	35,000
１月	公民館使用料	使用料等	20,000
3月	鍬・備中購入	消耗品費	22,920
	四里草刈り機替え刃・コピー用紙	消耗品費	15,070
合計			631,726

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	620,000	620,000	
自主財源	26,900	11,726	
その他（　　）			
合　　計	646,900	631,726	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
家族ふれあい芋ほり大会	地域の交流を図るため、家族ふれあい農園で餅米・さつま芋・里芋とポップコーン用のとうもろこし苗の植付けから収穫まで行う。収穫作業を体験すると同時にいもほり大会を実施。１位から１０位までの順位を決め表彰する。	報償費	65,000	72,000	農園・耕転機の謝礼
		消耗品費	60,000	127,851	肥料・縄・備中
		食料費	210,000	156,245	お茶・菓子・ジュース
		印刷費	153,000	110,550	チラシ印刷代
		光熱水費	15,000	13,500	耕耘機燃料代
		賄材料費	80,000	65,000	おこわ弁当代
		通信費等	13,900	9,840	芋ほり大会案内
		委託料	0	1,940	幼児一時預
		手数料等	0	13,100	お堂トイレ修理代
		保険料	30,000	41,700	傷害保険
		使用料等	20,000	20,000	公民館使用料
合　　計			646,900	631,726	

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

広報事業

２　活動報告（活動内容等）

１、広報紙の発行
　まちづくり推進協議会の活動を住民に紹介し、事業の理解と事業への参加を促進するため、まちづくり新聞を年2回（８月・３月）全ページカラーで発行した。
２、フェイスブック、ホームページの更新を実施した。。
３、その他の広報事業
　JR瑞浪前、瑞浪中学校、明賀台団地の野立て看板3枚枚を貼替え補修た。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

①　瑞浪地区約4,000戸の全戸に、まちづくり新聞の全ページカラー発行で47号（8月1日）と48号（3月1日）を２回行った。（計画＝発行2回）
②　フェイスブックは12回、まちづくりホームページは開催事業の前後に10回更新した。
　　（計画＝フェイスブック　ホームページ　随時更新）
③　「まちづくり活動」をＰＲするため設置された野立て看板に汚染、変色、破損及び剥離があるため3箇所の貼替を行った。
　　ＪＲ瑞浪駅前、瑞浪中学校前東、明賀台団地　　（計画＝3箇所）

４　事業に要した経費（総事業費）

462,550 円

５　夢づくり地域交付金充当額

462,550 円　［潤いのあるまちづくり事業より１０，５５０円流用］
（内、交付金加算額　　円）

7　活動スケジュール、活動の内容　　（広報）

（単位：円）

実施予定時期	活動の内容	経費の内容	
		支出科目	金額
7月	第45号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
1月	野立て広告看板貼替（摩耗指摘貼替コンテンツ）	手数料等	110,000
２月	第46号まちづくり新聞発行（全頁カラー）	印刷費	173,250
3月	まちづくり新聞編集コピー用紙	消耗品	6,050
合計			462,550

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度予算額	本年度実績額	備考
夢づくり地域交付金	452,000	452,000	
自主財源	17,000	10,550	
その他（　食品チケットの販売　）			
合　　計	469,000	462,550	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度予算額	本年度実績額	備考
経費区分	活動の内容				
広報誌まちづくり新聞発行事業	まちづくり事業の理解と参加を促進するためにまちづくり新聞を発行する。	印刷費	360,000	346,500	まちづくり新聞発行
		食料費	3,000	0	
		通信費等	1,500	0	
		消耗品費	0	6,050	
		小計	364,500	352,550	
フェイスブック・ホームページの更新	まちづくり事業の開催案内の周知、開催結果を動画を交えて更新する。	食料費	3,000	0	
		通信費等	1,500	0	
		小計	4,500	0	
その他の広報	野立て広告劣化のため貼替補修をする。	手数料等	100,000	110,000	野立て看板貼替
		小計	100,000	110,000	
合　　計			469,000	462,550	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	1
事業名	安心・安全なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	① 青色回転灯パトロールによる巡回：第1、第3金曜日は午後3時から下校見守り、他の金曜日は午後7時から地域全体を実施、延べ120人参加します。 ② 自主防災訓練：地域での防災対策として各区役員と防災担当者含めて130人参加します。 ③ AED・心肺蘇生法講座：2回（3時間講習）コロナ禍各20人計40人参加します。 ④ 健康演会「ひざ痛・腰痛　痛みの原因を」の開催：1回　60人参加します。 ⑤ 健康ウォーキング：参加者120人×2回　240人参加します。	3
		実績値	① 青パト：第1、第3金曜日小中学生下校時の15時から、主に役員が17日間34人、地域全体は19時から21日間81人。合計38日間で参加者115人で実施した。 ② 自主防災訓練：訓練当日熱中症アラート発出により中止した。 ③ 普通救命講習会：コロナ禍、感染防止のため参加人数を制限（40人）し2日間開催し参加者は30人です。 ④ 健康講演会：事前申込で「ひざ痛・腰痛　痛みの原因を」をテーマに開催、参加者は26人です。 ⑤ 土岐川堤防健康ウォーキング：秋新コース高松観音を設け、春秋年2回実施、参加者は183人です。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	コロナ禍の影響もあり、ライフスタイルの多様化や暮らし方に対する価値観の違いにより、「住民同士のつながり」は希薄化しつつあります。住民が安心して暮らせる安全なまちを作るため、住民による防犯・防災対策と、助け合おうとする意識の向上が特に今必要と思います。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				26
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・コロナ禍、参加者を把握するため各事業事前申し込みで事業を行いました。 ・瑞浪地域において、安全・安心に暮らせる為の重要な活動と認識しており、継続して取り組んでいきます。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　瑞浪地区
事業番号　2
事業名　潤いのあるまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 花の苗の配布：30団体と小中学校に、春・秋の2回 各4,000ポット合計8,000ポット配布します。 ② 万尺川に蛍を：:環境美化保全を目的に「万尺川に蛍を」事業を地域住民と「瑞子連」及び小学生と一緒になって清掃活動を行い、幼虫800匹放流します。ホタルを観る会6月上旬「瑞子連」と協働で行います。 ③ 美化啓発活動マスク配布：3枚入りマスクセット300セットをJR瑞浪駅前で配布します。 ④ 絵手紙・ちぎり絵教室：手書きのすばらしさ参加者相互のふれあいを感じ「つながり」「楽しさ」を味わっていただきます。年6回開催120人の参加者で開催します。 試行事業街 ⑤ 環境保全事業（ニホンミツバチ飼育）：誘引花キンリョウヘンをセット捕獲に成功します。 ⑤ 男女共同参画事業：人生100年の時代へ地域住民としてどのように向き合うのか、講師を招き1回50人の参加者で講習会を開催します。	5
		実績値	① 花の苗の配布：春32団体・秋31団体の63団体に8,028ポットを配布しました。小中学校は搬入車両等の危険回避が十分でなく中止しました。 ② 万尺川に蛍を：3月子ども会「瑞子連」の親子と近隣の蛍里親など43人が参加して、蛍の生態と万尺川の環境美化について「ミニ蛍教室」開催しました。開催後蛍ヨシ刈りとゴミ拾い行い幼虫300匹を万尺川に放流しました。 6月のホタル観賞会は、子ども会「瑞子連」との協働で開催223人の参加があり大成功でした。また、ダイナム様の会場提供の協力がありました。 ③ 美化啓発マスク配布：熱中症アラート発出のため中止しました。 ④ 絵手紙・ちぎり絵教室：参加者66人が参加して5会開催しました。第2回の教室は大雨警報が発出され中止しました。 試行事業 ⑤ ミツバチプロジェクト：地域の方の協力で分蜂に成功し1巣飼育中です。 ⑥ 男女共同参画事業：講演会ですが、新型コロナで3年間開催を中止していましたが、今年度始めて35人の参加者で開催できました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	新しい生き方新しい生活様式の実践が求められています。瑞浪地区が、住みやすく潤いのある美しく豊かな生活が出来るために、コミュニティ花壇の整備や環境美化啓発・環境保全活動を行い笑顔あふれ元気な地域づくりが求められている。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	6 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				28
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・美化啓発や環境保全は即効性が期待できないため、5年10年継続した取り組みとして行っていくことが必要です。 ・コロナ禍、イベント開催にあたり参加者を把握するため、ほぼすべての事業を事前申し込みとし、実施に当たっては、アルコール消毒と体調管理を実施し最低限の感染防止対策を行い実施しました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　瑞浪地区

事業番号　3

事業名　地域内の交流が活発なまちづくり事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		5
2	成果目標の達成度	成果目標	地域ぐるみ家族ぐるみで事業を開催し、家族を軸に地域的な連帯感に支えられた、人間らしい近隣生活を営む基盤をつくるきっかけとします。田植え、芋の植付け50人、稲刈り50人、農園管理延べ 300人。 芋ほり大会は200人予定します。	5
		実績値	① 5月14日の田植え、芋の植え付けに役員・地域の協力者・参加者合計で過去最高の103人参加しました。 ② 9月17日の稲刈りに、役員・地域の協力者14人参加しました。 ③ 10月29日「芋ほり大会」に63家族200人、小学校先生、中学生ボランティア(6人)と役員51人合計251人の参加がありました。地域社会貢献企業として(株)ダイナム様がゲーム等でイベントに参加していただきました。 ④ 5月から9月までの草刈りなど維持管理活動で述べ116人の参加がありました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域では住民同士の関係が希薄になっており、また、家庭では家族の会話が不足しているといわれます。 地域や家族で参加できる事業を開催、家族や地域の絆を強くし、これらを解消するきっかけの一つとなる機会を提供します。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				29
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		・コロナ禍、今年度もこんな時こそ「地域の皆さんに元気を取り戻してほしい。」「コロナ前の生活を取り戻してほしい。」との思いで、事前申し込みによる家族単位の参加で実施しました。 ・参加のご家族が元気な笑顔と楽しい会話で芋を掘っていただき、まちづくり「家族ふれあい農園」で育ったモチ米を使った「おこわ弁当」をお土産に皆さん大喜びで自宅への帰路についていただきました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	瑞浪地区
事業番号	4
事業名	広報事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りが充分出来なかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	① 広報誌の発行：まちづくり活動を地域住民に紹介し、事業の理解と各事業への参加を促進するめ、まちづくり新聞を全ページカラーで年2回発行します。 ② フェイスブック・ホームページの更新：フェイスブック・ホームページを随時更新、アクセス数の増加に努めます。 ③ その他の広報事業 平成18年に設置された「まちづくり活動」をPRするための野立て看板の劣化が進んだ、JR瑞浪駅前、瑞浪中学校、明賀台団地の野立て看板3枚張り替えます。	4
		実績値	① 広報誌の発行：45号（8月1日号）、46号（3月1日号）の年2回（1回5,000部）発行し瑞浪地区に全戸配布しました。 ② フェイスブック・ホームページの更新：フェイスブックの月2回以上更新、ホームページの更新は9回行いましたが動画更新は編集等の準備不足により出来ませんでした。 ③ その他の広報事業 「まちづくり活動」をPRするため設置された野立て看板に汚染、変色、破損及び剥離があるため3箇所の貼替を行ないました。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	地域住民の参加と協力を促進するためには、情報をわかりやすく伝えることが重要です。若者向けには、SNSやウエブサイトを活用、高齢者には、紙の「まちづくり新聞」により情報を提供することで、まちづくり活動の進捗や成果を定期的に更新し情報の共有化促進することで信頼を図ります。	4
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		5
合計点				27

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 継続　3 終了　4 廃止
意見・感想など	①事業ごとに事業のPRや実施後の活動報告をまちづくり新聞はもちろん、フェイスブックやホームページで行いました。 ②今後は紙ベースの情報発信だけでなく、個人情報には注意し動画によるまちづくり活動をリアルタイムに実施して来ます。 ③引き続き新聞、チラシにホームページへのQRコードを印刷しホームページのアクセス数を増加させたい。

令和５年度

瑞浪地区まちづくり

事業実績記録

①　安全・安心なまちづくり事業

青色防犯パトロール（10月20日）
実施内容：38日間115名



健康講演会ひざ痛・腰痛痛みの原因を（9月24日）
瑞浪市西分庁舎にて参加者26名



春　土岐川堤防健康ウォーキング（5月21日）
土岐川堤防6.8㎞（参加者84名）



秋　土岐川堤防健康ウォーキング（１１月19日）
新コース高松観音7.6㎞（参加者99名）



普通救命講習会（12月8日）

瑞浪市防災センター（参加者 16 名）



普通救命講習会（12月9日）

瑞浪市防災センター（参加者14名）



②　潤いのあるまちづくり事業

コミュニティ花壇事業　花の苗配布　春（6月２日）
32 団体　3,828 ポット



コミュニティ花壇事業　花の苗配布　秋（１１月10日）
31 団体　4,200ポット



源氏蛍の鑑賞会（６月１２日）子ども会（瑞子連協働事業）
山田町ダイナム様駐車場万尺川（参加者 223 人）



環境保全事業　ミツバチ飼育（試行事業）
分蜂支援で　１巣



万尺川に蛍を　　万尺川清掃（3月24日）

（子どもを含む地域の方々、まちづくり役員合わせて４３名参加）



男女共同参画事業　講演会　　（7月28日）

（コロナ禍４年前から計画しました。初めて開催。３８名参加）



第１回絵手紙・ちぎり絵教室（5月６日）

西分庁舎会議室（参加者 11 名）



第４回絵手紙・ちぎり絵教室（10月７日）

西分庁舎会議室（参加者 22 名）



③　地域内の交流が活発なまちづくり事業

家族ふれあい農園で田植え（5月14日）
参加者：103名



家族ふれあい農園で芋の苗の植え付け（5月14日）
参加者：103名



家族ふれあい農園で稲刈り（9月17日）
参加者は48名



家族ふれあい農園で「芋ほり大会」（10月29日）
参加者は63家族251名



④　広報事業

まちづくり新聞発行（47号８月１日・48号３月１日）



フェイスブック　（1月）

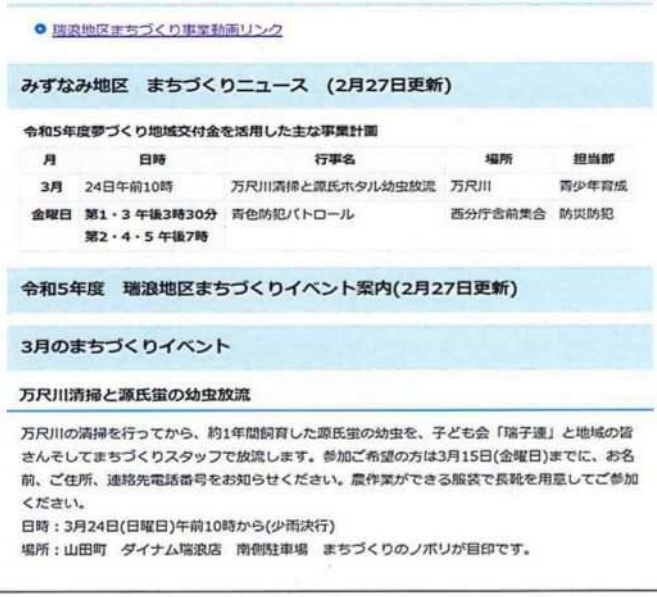


野立て看板貼替（1月）

ＪＲ瑞浪駅前



瑞浪市ホームページ　（2月27日）



瑞浪地区まちづくり事業動画リンク

みずなみ地区　まちづくりニュース　(2月27日更新)

令和5年度夢づくり地域交付金を活用した主な事業計画

月	日時	行事名	場所	担当部
3月	24日午前10時	万尺川清掃と源氏ホタル幼虫放流	万尺川	青少年育成
金曜日	第1・3 午後3時30分 第2・4・5 午後7時	青色防犯パトロール	西分庁舎前集合	防災防犯

令和5年度　瑞浪地区まちづくりイベント案内(2月27日更新)

3月のまちづくりイベント

万尺川清掃と源氏蛍の幼虫放流

万尺川の清掃を行ってから、約1年間飼育した源氏蛍の幼虫を、子ども会「瑞子連」と地域の皆さんそしてまちづくりスタッフで放流します。参加ご希望の方は3月15日(金曜日)までに、お名前、ご住所、連絡先電話番号をお知らせください。農作業ができる服装で長靴を用意してご参加ください。

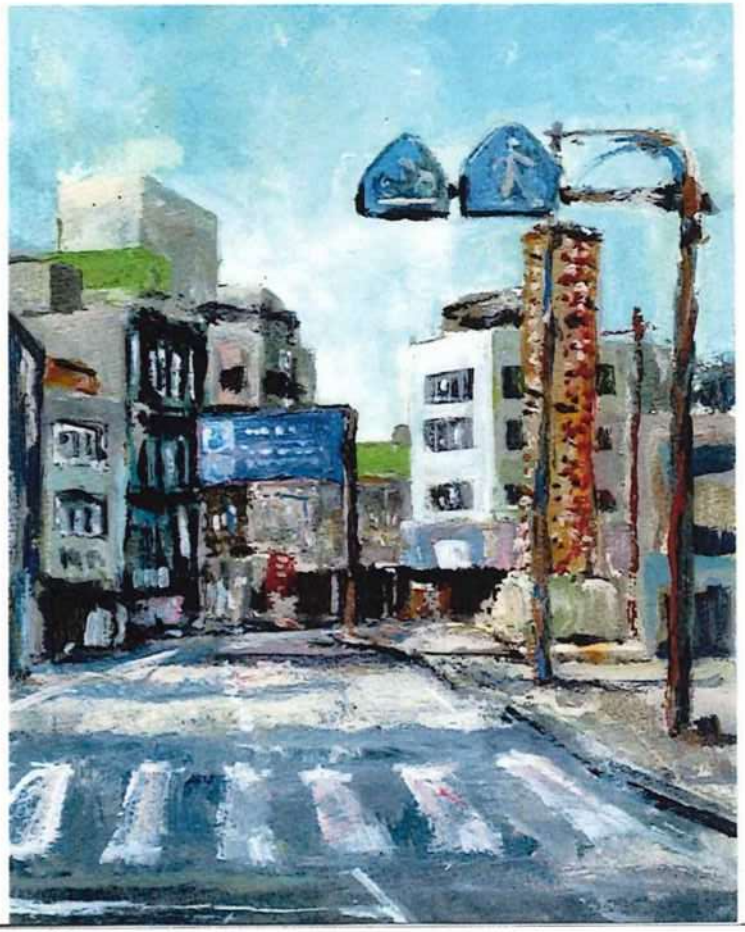
日時：3月24日(日曜日)午前10時から(少雨決行)

場所：山田町　ダイナム瑞浪店　南側駐車場　まちづくりのノボリが目印です。

⑤　地域計画策定事業

地域計画の策定（8月29日・9月30日・10月21日） 課題解決に向けての活動事業（ワークショップを3回開催。76名参加）	地域計画づくりの流れ

岐阜県瑞浪市
瑞浪地区地域計画2024





瑞浪地区地域計画2024
発行年月：令和6年2月
瑞浪地区まちづくり推進協議会

住所：瑞浪市上平町1-1
電話：0572-56-0130

岐阜県清流の国ぎふ推進補助金を活用しています